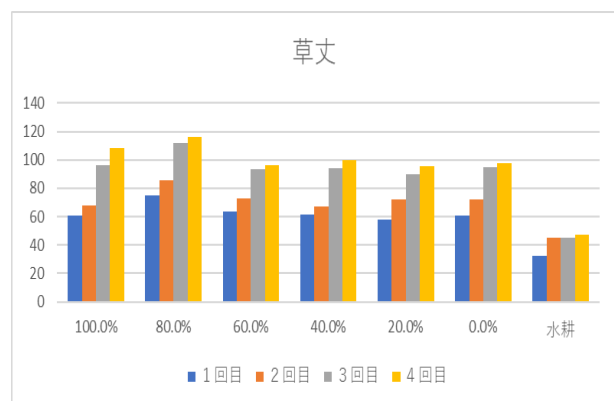


## 2年 資源科学類型（プロジェクト学習）

テーマ：温泉水を活用したトマト栽培の実験報告

### 1 生育調査

・生育の結果(草丈)・・・温泉水の濃度によって若干の生育に変化がでたが、(草丈2～10センチ程度)他にも葉数、花房数共に良好に生育できることが確認できました。



### 2 生育調査

・官能テスト(実食比較)の結果、果実(皮、果肉、ゼリー)の状態の比較や味、糖度などについて、まず、果実(皮、果肉、ゼリー)の食感については特に大きな差もなく果実の見た目や食感はどれも良好でした。また、糖度についても、甘さを感じ良好でした。

NO	温泉水の濃度	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	合計
1	100%	3	3	3	3	4	4	22
2	80%	4	4	4	4	3	3	25
3	60%	1	1	2	1	1	2	12
4	40%	5	5	5	5	5	5	34
5	20%	6	6	6	6	6	6	41
6	0%	2	2	1	2	2	1	16
7	水耕栽培データ	7	7	7	7	7	7	49



(注意:合計の数(順位)が小さいものほど良い)

### 3 温泉水を使用したトマトの栽培で分かったこと



・温泉水を利用することで、従来の水資源を節約することができます。また温泉水は天然のミネラルを含んでいるため、化学肥料などを使わず、一般の栽培方法と変わらない生育が期待できることが分かりました

・一般に店頭に並んでいるトマトと同じように美味しということ。

以上のことから、温泉水を利用することは有効だということがわかりました。

追記：実験終了後、使用した用土を冬野菜の栽培に転用にしたところ温泉成分の濃度障害等の影響なく問題もないと考えられます。

### 4 プロジェクトを通して

温泉水で栽培をすると従来のトマトの生産コストを削減できるうえに市販のものと変わらないおいしいのでこれからの温泉水を使った栽培に期待ができそうです

最後に資源の活用方法として、海水を使った栽培に続き、温泉水を活用したトマトの栽培法を研究することができたことは良かった。

